

2019 年度 SDGs 実践プログラム in ラオス 募集要項



■立命館大学学びのコミュニティ集団形成助成金（正課外プログラム）とは

単位修得を目的としない活動（正課外プログラム）の参加費用の一部を補助することで正課外プログラムへの参加を奨励し、学びと成長を促進することを目的とする助成金制度です。この「2019 年度 SDGs 実践プログラム in ラオス」は当該助成金の対象となり、参加費用の一部を負担しています。

1. プログラム概要

本プログラムでは、参加者が、2015年に国連で定められた世界の貧困削減、質の高い教育の提供や環境分野での協業等を目標とした「持続可能な開発目標（SDGs）」を「自分ごと」として理解し、よりよい未来像に貢献できるグローバル人材としての資質を養うことを目的とします。

訪問するラオスでは、労働人口の約70%が農業に従事し、主に稲作農家として生計を立てていますが、肥料や農薬を使わず、灌漑設備も整っていないため、天候に左右され生産量は安定していません。また山がちな地形により交通網も整備されておらず、農村部への教育・保健・社会サービスの供給も困難な状況です。

今回もラオスの農村地域をターゲットとしますが、具体的に2つのテーマに焦点をあてます。

農家の収入向上

農村地域の教育向上

どうすれば農家の収入が向上するか。どうすれば農村地域の教育が向上するか。参加学生は自身の関心のあるテーマを選び、これらの問いに対して、事前から事後学習に至るまで考え、最終的には、プロジェクトを立案します。立案するプロジェクトの実施者は「自分たち」であることを前提条件とすることで、プログラム終了後の具体的なアクションへ移しやすくすることを、ねらいとします。

＜本プログラムの目的＞

- （１）主に2つのテーマに分かれ、ラオスにおけるSDGsの各分野の中で、特に教育（目標4）・農業分野（目標8・9・12）の現状や達成状況について、人口の大半を占める農村部の人々をターゲットとし、彼らの視点から考え、課題やニーズを理解する。
- （２）農家の収入向上または農村の教育向上に対しての具体的なプロジェクトを立案する。
- （３）（１）、（２）での経験を通じて、SDGsを「自分ごと」として理解・行動し、よりよい未来に貢献できるグローバル人材の資質を身につける。
- （４）本プログラム全体を通じて、コミュニティ形成や活動を牽引するリーダーとしての資質を養う。

【募集人数】12 名程度 ※10 名に満たない場合、プログラムを中止することがあります

【対象】本学学部生 ※後述の通り、出願書類に基づき書類選考により採用者を決定します

2. スケジュール

渡航前の事前学習会および帰国後に成果報告会を実施します。これら全てに出席するとともに、成果報告書の作成・提出を行うことが参加および参加費補助の必須条件となります。

① 事前学習会：

第1回目：2020年1月11日（土） 12：30～16：30 @朱雀キャンパス

第2回目：2020年2月14日（金） 13：00～17：00 @朱雀キャンパス

② 現地学習： 2020年2月24日（月）～2月29日（土）

月日	場所	交通	行程
2月24日	関西国際空港	飛行機 (エア・アジア)	関西空港集合 関西国際空港発タイ・バンコク(ドンムアン空港)へ
2月25日	(深夜便) ウボンラチャタニ 経由 パクセ着 レストラン ホテル 日系企業 ホテル ホテル ホテル	飛行機 借上げバン 徒歩 借上げバン	タイ・バンコク(ドンムアン空港)着 タイ・バンコク(ドンムアン空港)発 タイ・ウボンラチャタニ着 到着後、陸路にて国境を超えてラオス・パクセへ 近くのレストランで昼食 オリエンテーションとラオス語会話レッスン 訪問①企業訪問 ホテル到着 現地の高校生と夕食 振り返り、教育活動の準備 【パクセ/Forest Hotel 泊】
2月26日	ホテル ホテル1階集合 ダオファン市場 コーヒー農家 山本農園 ファイフンタイ村 ホテル レストラン ホテル	借上げバン 借上げバン 借上げバン 借上げバン	朝食(各自ホテルのレストランにて) ～移動～ 視察①市場 ～移動～ 視察②有機農法で栽培しているコーヒー農家 カフェで昼食 ～移動～ 視察③織物産業が特徴的な少数民族の村 ～移動～ ホテル着 夕食(ホテル周辺のレストラン) 振り返り、教育活動の準備 【パクセ/Forest Hotel 泊】
2月27日	朝食 ホテル1階集合 村の学校 ホテル レストラン ホテル1階集合 ナーガム村	借上げバン 借上げバン 借上げバン	朝食(各自ホテルのレストランにて) ～移動～ 活動①小学校での教育活動の実施(ナーガム村 想定) ～移動～ ホテル着 昼食自由(ホテル周辺のレストラン) ～移動～ 視察①一村一品運動(竹細工)の村活動②農村

	レストラン ホテル		でのインタビュー調査 ～移動～ ホテル着 夕食（ホテル周辺のレストラン） 振り返り 【パクセ／Forest Hotel 泊】
2月28日	朝食 ホテル1階集合 ゴールデンブッダ モール レストラン ホテル1階集合 ウボンラチャタニ 空港 バンコク空港 （深夜便）	借上げバン 借上げバン 飛行機 飛行機	朝食（各自ホテルのレストランにて） ～移動～ 視察①ゴールデンブッダ（観光名所）訪問 フレンドシップモールでお土産購入 昼食（ホテル周辺のレストラン） ～移動～ （パクセの国境から陸路で国境を越える） ウボンラチャタニ空港 ～移動～ タイ・バンコク（ドンムアン空港）到着 タイ・バンコク（ドンムアン空港）発 関西国際空港へ 【機中泊】
2月29日	関西国際空港	飛行機 （エア・アジア）	関西国際空港着 解散

※上記フライト時間と訪問先・時間は、航空会社や現地事情などにより予告なく変更になる場合があります。

※毎日グループ毎の振り返りを実施予定。

※ホテルは2名1室利用予定。

③成果報告会： 2020年3月11日（水） 13:00～17:00 @朱雀キャンパス（予定）

3. 費用

【負担額】 98,000円（予定）

本プログラムは「立命館大学学びのコミュニティ集団形成助成金（正課外プログラム）」の対象プログラムであり、本プログラム全体費用のうち上限10万円まで補助いたします。現時点ではプログラム全体の費用は198,000円を想定していますので、参加者の負担額は98,000円を予定しています。ただし、燃油サーチャージの増減があった場合などは、負担額が変更となる可能性がありますので予めご了承下さい。

参加費振込期限： 2020年1月6日（月）

採用決定後に参加費のお振込みをお願いいたします。振込口座については結果通知のご連絡と共にご案内いたします。

【参加費用に含まれるもの】

航空券代、関西空港施設使用料、現地空港税、現地宿泊費（朝食代含む）、現地での移動にかかる費用、その他コース運営にかかる費用等が含まれています。

【参加費用に含まれていないもの】

空港までの交通費、各種ワクチン接種代、海外旅行保険、日本国内交通費、昼・夕食代、その他

個人的な出費、パスポート取得にかかる費用（必要な場合）、ビザ代（必要な場合）等は含まれていません。

【キャンセル料の取り扱いについて】

採用確定後の辞退は原則認められません。辞退や不参加となった場合、キャンセル料の実費を負担いただきます。なお、辞退やキャンセルの場合、助成金の対象とはなりませんので、負担額（98000 円）を超えたキャンセル料が必要となる場合もありますので予めご了承下さい。

4. 応募・選考について

募集期間：2019 年 12 月 2 日（月）～12 月 9 日（月）17：00

応募資格：

必須条件

- ① 本学の正規学部学生であること
- ② 学籍状態が「在学」または「留学」であること
- ③ （留学生の場合）日本語での議論についていける日本語能力を有すること
- ④ 積極的に現地の人や参加者同士で交流する意欲があること
- ⑤ 以下に挙げる「受給者の義務」を果たすことを誓約できること
 - ・事前学習会・および成果報告会への参加
 - ・成果報告書の提出
 - ・本大学から求められた場合は成果発表を行う
- ⑥ 今年度停学以上の懲戒を受けていないこと

望ましい条件

- ① 日常会話程度以上の英語力を有すること

【出願方法】

提出先・問い合わせ先：学生オフィス窓口へ提出ください。

衣笠学生オフィス 研心館 2 階（電話：075-465-8167） 担当：藏重

BKC 学生オフィス セントラルアーク 1 階（電話：077-561-3920） 担当：岩谷

OIC 学生オフィス A 棟 1 階（電話：072-665-2130） 担当：古瀬

【出願締め切り】

2019 年 12 月 9 日（月）17 時（厳守）

【選考方法】

出願書類に基づき書類選考により採用者を決定します。必要に応じて面接や電話での聞き取りを実施する場合があります。

＜留意事項＞

- ・応募者多数の場合は、今年度当該助成金を活用した他のプログラム（チャレンジふくしま塾、コミュニティ・デザイン・プログラム in 大船渡、EDGE+R プログラム海外研修 in シンガポール、SDGs ディスカバリープログラム in ベトナム）の採用者よりも新規の応募者を優先して採用することがあります。

- ・応募者多数の場合は、本プログラムの活動を通じて目的をもって学生生活を送り新たな課外活動や「+R 校友会未来人財育成奨学金」「学びのコミュニティ 集団形成助成金（正課外自主活動）」等、更なる課外自主活動参加への拡がりを期待していることから、低回生を優先して採用することがあります。
- ・採用後、プログラムへの活動意欲が見受けられない場合、採用を取り消す場合があります。

【結果通知】

2019 年 12 月 20 日（金）13 時に manaba+R で通知します。

※ 結果通知後速やかにパスポートデータを提出していただきますのでご準備ください。

【その他】

① パスポートについて

パスポートの有効期間が「滞在期間+6 ヶ月以上」であることが必要です。出願までに用意できない場合は、事前に相談してください。航空機の手配にもパスポート（氏名ローマ字表記）が必要となります。パスポートの有効期間が足りない場合は、パスポートの再発行を行っていただきます。パスポート取得にかかる費用は自己負担です。

② ビザについて

ラオスビザは下記の場合に限り不要です。今回の渡航は 15 日以内であるため、②はすべての方に該当します。①に該当しない方は、自身で取得する必要があります。ビザ取得にかかわる費用は自己負担です。

①日本国籍（有効な日本のパスポートを所持している方）

②滞在日数が 15 日以内の場合

③ 海外旅行保険について

各自、渡航の全行程をカバーする大学所定の海外旅行保険への加入が必須となります。詳細は採用後に連絡します。なお、海外旅行保険 加入にかかる費用は自己負担です（昨年度参考：5000 円程度）。

④ 健康管理について

下記の海外留学健康の手引きを読んで、渡航に関する情報収集を事前にしてください。採用者は所定の「立命館大学 課外活動 海外渡航者 健康状態に関する申告書」の提出が必須となります。詳細は採用後に連絡します。

海外留学 健康の手引き QR コード→



⑤ その他注意事項

- 現地学習は、予定の内容から変更になる場合もありますので、予めご了承下さい。
- プログラムへの参加および渡航手続等に関し、事務局の指示による手続き等を遵守しない場合、採用資格を取り消す場合があります。
- 本学が指定する往復の航空便の利用を全員に義務付ける他、病気等やむを得ない理由と大学が認めた場合以外は、コース途中での離脱、途中合流、途中帰国はいっさい認めません。
- 本プログラムは、単位の対象とはなりません。

以上